

かじき図書館だより

平成28年度
4月号
TEL 62-2605

◆ 4月23日 ... 子ども読書の日

◆ 4月23日～5月12日 ... こどもの読書週間

▼おはなし会日程の変更

4月から、おはなし会は
毎月第4土曜日

に開催します。
時間は、10時30分からです。



▼始良市へ転入された方

始良市に在住または勤務されている方はどなたでも利用者カードを作ることができます。(0歳児もOK!)ぜひお気軽に図書館をご利用ください。

ものがたりレシピをいただきます!

子ども読書の日に合わせて、ものがたりに登場する食べ物を、始良市内の小中学校の給食にお届けします!今年のおはなしとメニューはなにか?お楽しみに♪



読書ゆうびん 大募集!

あなたのお気に入りの本を、**絵や文で自由に紹介**してください。用紙は図書館で配布しています。色とりどりの作品をお待ちしています♪
集めた読書ゆうびんは、こどもの読書週間に加治木図書館で開催する**読書ゆうびん展**で展示します♪(対象:幼児～高校生)



4月の展示

【猫の本】

最近ドラマや写真集などで大人気の猫たち。気まぐれでマイペースな猫たちの魅力がたっぷり詰まっています🐾

【ともだちたくさんできるかな】

春はドキドキ新しい出会いの季節。

【お花見しましょ♪】

美味しいお弁当を食べながら
美しい桜を楽しみませんか♪

ミニ展示【電力自由化】【女性の社会進出】

『ブランケット・キャッツ』
重松清(朝日新聞社)



いまを生きる
孤独と救済を描いた、猫とひとの物語全7編。

○新着図書を紹介

一般書

- *かんかん橋の向こう側
- *余命二億円
- *鼠、地獄を巡る
- *神様に一番近い動物
- *モーロクのすすめ 10の指南
- *図書館超活用術
- *学校と一緒に安心して子どもを育てる本
- *簡単解説!!1時間でわかる電力自由化
- *毎日続くお母さんの仕事
- *1株でもたっぷり収穫!小さな畑の野菜づくり
- *私流に現在を生きる

- あさの あつこ
- 周防 柳
- 赤川 次郎
- 水野 敬也
- 坪内 稔典
- 奥野 宣之
- 多賀 一郎
- 江田 健二
- 後藤 由紀子
- 斎藤 忠監修
- 堀 文子

- *はるやさいのはるやすみ
- *ともだちのつくりかた
- *おんちよろちよろ 日本の昔話
- *虫ロボのぼうけん 1~5
- *図書館脱出ゲーム 上下
- *フクイリュウ 福井で発見された草食竜
- *銀行で働く人たち
- *やっつ、ひらめいた!奇想天外発明百科
- *なでなでももんちゃん

児童書

- 林 木林
- たかい よしかず
- 瀬田 貞二再話
- 吉野 万理子
- クリス・グラベンスティン
- たかし よいち
- 小堂 敏郎
- マウゴジヤ・ミチエルスカ
- とよた かずひこ

乳幼児向け

あいらむかし昔

巨人「うどどん」の伝説

ずっと大昔、加治木に「うどどん」という巨人がいた、という伝説があります。ふとか(大きな)男、うどか(大きな)男だから「うどどん」。うどどんは、片足を加治木町木田の岩ノ嶽(現在採石場がある湯湾岳のこと)のふもとに、もう一方の足を加治木から20kmほど離れた国分あたりの田んぼの真ん中に置き、桜島を枕にして寝ていたそうです。その足のあった岩ノ嶽の麓の東に少し寄った田んぼには100㎡ほどへこんだ所があり、それが巨人うどどんの足跡であったという伝説もあります。しかし、今はそのへこみは整地されてなくなっています。

さらに伝説では、うどどんはたくさんの飲み水を求めて川内川へ向かいます。川の水を飲むためにさつま町の牧之峰に腰を下ろして峰のてっぺんを平たくし、川の水と一緒に吸い込んだ大量の砂を口からはき出して今の薩摩川内市市比野の丸山をつくったということです。地形まで変えてしまう「うどどん」、まさに伝説とされるにふさわしいビッグな存在だったようです。

参考資料 『加治木郷土誌』加治木郷土誌編纂委員会
『鹿児島県の民話』日本児童文学者協会

4月のおはなし会は**23日(土)**

10時30分からスタート!

・楽しいおはなし会です♪

どなたでもご参加いただけます☆

4月のカレンダー

休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

23日 ... おはなし会

開館延長日(19時まで開館)



始良市立図書館ホームページ

(<http://lib-aira.jp/>)

でも図書館の情報を発信しています。